

名取頭首工維持

8班

海鋒 充

佐々木 健吉

高橋 惇

納口 恭太郎

丸井 堂嗣

谷田貝 圭介

山口 健治

頭首工とは？

- 頭首工は、農業用水を河川から取水するための施設
 - 主な目的は利水、治水は目的ではない
→名取頭首工も利水目的
-

名取頭首工写真



もし名取頭首工が無かったら

- 農業用水が確保できない

名取市の農家10,177人、2,113戸 農地3,100ha

- 富田地区の家庭の水が無くなる

- 仙台新港の工場が操業できなくなる

生活や産業に大きな影響を及ぼす！！



名取頭首工は何故必要なのか



名取頭首工の必要性

- 江戸時代からこの場所に堰があった(六郷堰)
- 堰とともに発展してきた
- 名取市の米の生産量・・・県で15位
- 仙台市、名取市、岩沼市の3市、約3,400haの農地の灌漑用水を確保(地図参照)

この地域の農業は頭首工無しには成り立たない！！

取水量うちわけ



■ 農業用水 ■ 上水道 ■ 工業用水

取水量の内訳

- 農業用水 803,000 m³/日
- 上水道 44,000 m³/日
- 工業用水 100,000 m³/日

出典:名取土地改良区資料

耕地面積・・・減ってますが

- 減反政策、生産調整で農地は減少傾向

しかし

10年に一度、取水量の見直しを行って調節

構造面について

- 名取頭首工は可動式堰
- 水田は名取川の水面より高いところに
→ある程度の規模で、塞き上げする必要
- 固定式堰では取水が難しい

可動式という構造が理にかなっている

可動式のメリット

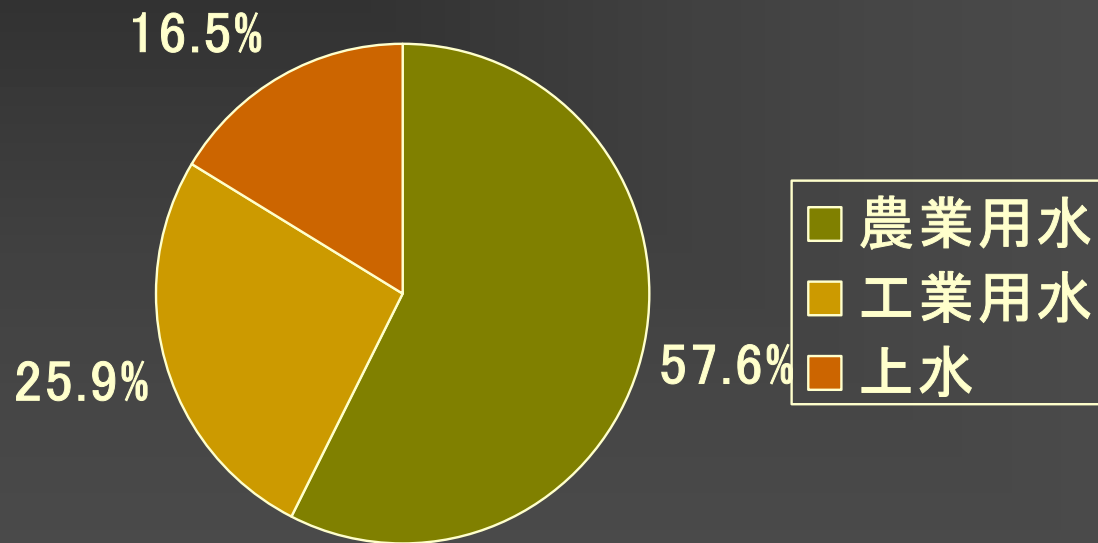
- 可動式堰には土砂吐きがある
土砂の浚渫が必要無い
土砂供給不足による下流の河床低下を起こさない

可動式なら維持管理しやすい

維持費について

- 維持費3000万円／年は各利用主体が分担

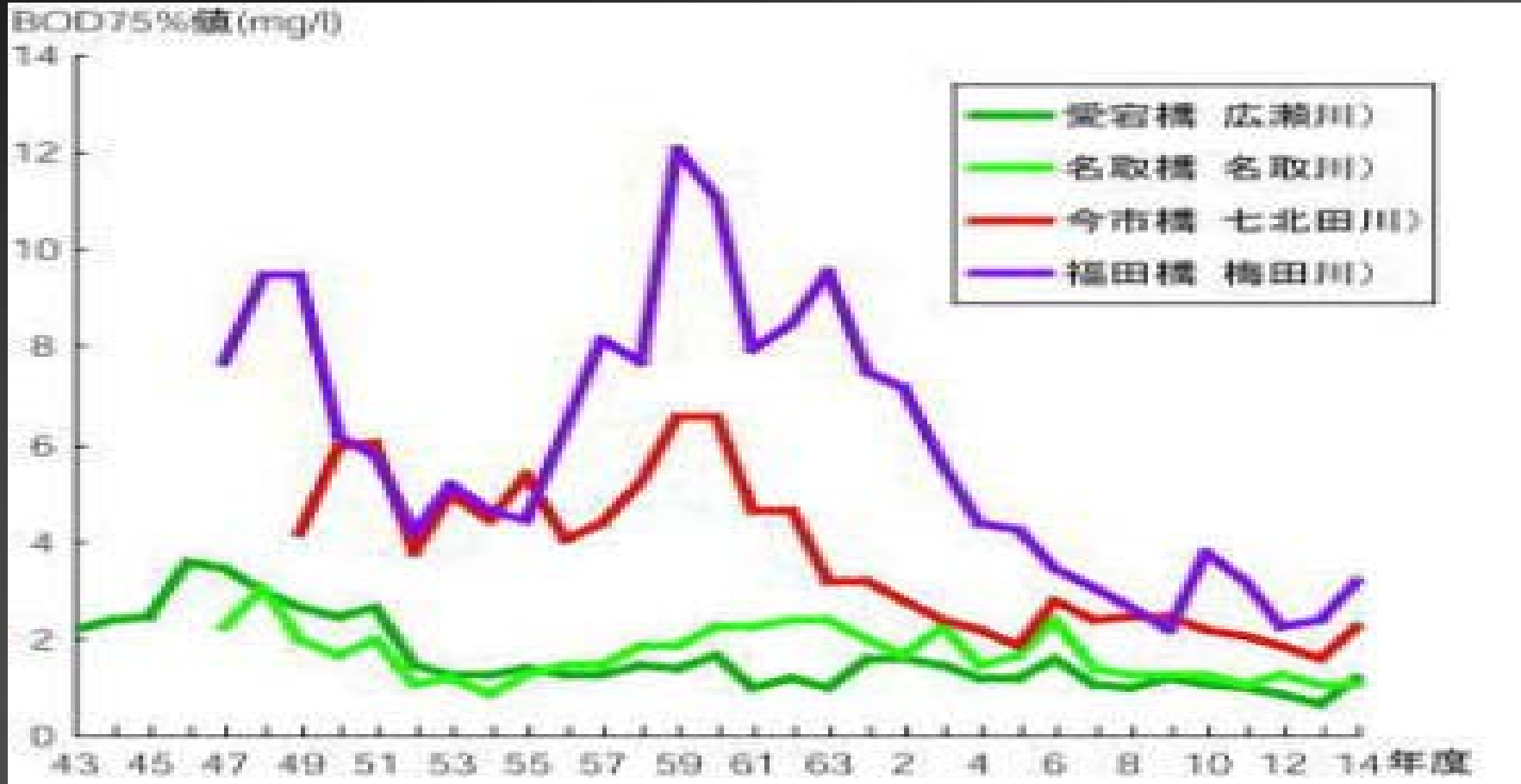
維持費負担割合



出典:名取土地改良区資料

環境面について

年度ごとのBOD75%値



出典:仙台市ホームページ

結論

- 地理的に可動式堰が理にかなっている
- 堰とともに歩んできた歴史
- 撤廃してしまったら、農業が成り立たない
- この地域の農業を守るためには絶対に名取頭首工が必要

名取頭首工は維持すべきです！！